

2 経管栄養関係の事例 ～チューブからの漏出～

発生時の状況と経過

注射器で胃ろうからラコール(半固形)注入している際に、チューブの接続部が外れ、ラコールが30ml 漏れてしまう。

発生時の対応と処置

普段は破棄しているラコールの残量より、漏れてしまった 30ml 足して、指示量 150ml のラコールを注入した。

担任より保護者へ連絡してもらい、現状を説明した。

考えられる原因や背景

胃ろう刺入部とチューブの接続部の固定がきちんとできていなかったため、ラコール注入時に注射器の圧で接続部が外れたと考えられる。

再発防止に向けた対策・改善点

胃ろう刺入部とチューブの接続部の固定確認を複数で確認する。

ポイント！

- 胃ろうの接続部は外れやすいことを共有しましょう。
- 接続部が外れることは想定されることとして、今回のように外れた場合に、すぐに対応できるように考えておきましょう。